

平成 28 年（2016 年）4 月 5 日

前期始業式訓話

皆さん おはようございます！

先ずは皆さん進級おめでとうございます。皆さんがそれぞれに頑張った結果の進級です。その努力に敬意を表します。

今日の蘇南高校はまさしく「蘇南の春の季節」を代表する景色となっています。満開に近い桜（ソメイヨシノ）、そのうすピンク色の桜の木の下には本校の校章になっている「岩つつじ」が紫色の花を咲かせ始めました。そして遠く山に目をやると山のあちらこちらに白い花が点々として咲いています。他の地では絶対に見ることのできない風景です。この風景の中で今学期をスタートさせることが出来るなんてとても幸せで、何か良いことが沢山起きる予感がします。

約一週間前の終業式で法隆寺の宮大工の西岡棟梁の本「木のいのち 木のころ」を買ってほしいとお話ししました。

買った人いますか？

図書館で借りた人はいますか？

興味を持った人はいますか？

「薬師寺の東塔」と「薬師寺西塔」について、このような話があります。薬師寺の東塔は藤原京からの移設であり、当時も木が貴重であったため、他の材を利用して加工しているため、ひとつとして同じものはありませんが、くみ上げるととても優しい美しさを出すのだそうです。西塔は現在の優秀な宮大工をして作り上げましたが、画一的な加工のため見た目が硬くてブロックのようだと話しています。私は十分に美しいと思いますが、不揃いな木を組んで作った東塔の方が優しいばかりでなく強いそうです。それを組み上げる宮大工の「千年持ってくれ」という「祈り」が込められているからだそうです。

是非とも「木のいのち 木のころ」を読んでみてください。

さて、終業式でも皆さんにお話ししましたが、繰り返します。

私は新 3 年生、新 2 年生、そして入学してくる新 1 年生の皆さんと先生方と協力して魅力ある蘇南高校にしたいのです。それには「皆さんが先生から与えられるのを待つのではなく、自分たちで考えて学校環境を改善したり、自ら求めて勉強をしてほしいわけです。」「先生が与えてくれるから」という受け身で

はだめです。

そして「南木曾町の最大の財産である妻籠宿を中心とする、南木曾の歴史、文化、技術、産業、観光、外国人文化」に直接沢山触れてほしいと思っています。そういう中で「自分の言葉で考えて、自分の言葉や文章で表現する力」をつけてほしいと思います。そして各行事で「今年以上に感動する」素晴らしい年にして行きましょう。

今朝も私が出会った皆さんは、しっかりこちらを向いて会釈しながら「おはようございます」とにこっと笑って挨拶してくれました。本当にさわやかな笑顔で、こんな気持ちのいい挨拶ができる蘇南高生っていいなと率直に思いました。

私は、現在の蘇南高校は、生徒同士、先生方にはもちろん、来校する人誰にでも、明るく挨拶ができる雰囲気があふれる学校なんだなと実感しています。

「おはよう」「こんにちは」「さようなら」や「ありがとう」「すいません」「失礼します」の言葉が素直に口からでてくること。これが、人が社会生活をする上で非常に大事なことだということは、色々なところで聴いていると思います。

今回の皆さんの笑顔と挨拶が、新入生も引き継いでくれたなと切に願わずにはいられません。

そこで皆さんにミッションを授けます。入学生に兄弟のいる人は「内緒です」よろしくお願いします。

最後に、繰り返し繰り返し皆さんに訴えます。「本を読んでください！」「読書」で言葉を知り、沢山の世界を間接的に体験してください。

そして「どうせやるなら」「楽しく！」です。

長い話をきちんと聞いてくれてありがとう！

さあ新年度スタートします。楽しげに、笑顔と笑いを大切に頑張りましょう

以上